



森 一人 議員

町おこしディレクター！
がんばれ！

「町おこしディレクター」の活動と活用について

問 「町おこしディレクター」の神岡氏が企画されてきたものを町はどの様に今後、活用していくのかを伺う。

答 地域支援課長「町おこしディレクター」の目標は、持続可能な嵐山町の活性化であり、町民の皆様が嵐山町に対する愛着を持ってもらうこと。そして、多くの町民に情報発信や協働を行ってもらうというステップを踏んでもらいたい。現

企画立案されたものを町はどの様に活用するのか

答 活動に対し最大限の支援を行いたい！

在のところ、その動きは小さいかもしれないが、様々なイベントを行うことにより、いずれは大きな波となり、それが全体に波及してくると考えている。課題としては、どのようにして活動資金を調達し、実践的な活動を行うかだと思つので、その活動に対し最大限の支援を行いたい。また、嵐山町をどのように活性化するかについて真摯に考えていただいております、10本の企画提案書を頂いている。

問 現在まで「町おこしディレクター」が、どの様な活動を実現されてきたのかを伺う。

答 地域支援課長「町おこしディレクター」

「には「嵐山町に新たな産業の風をおこす」ための活動を依頼している。活動の主なもののうち、イベントでは、さくらまつり花火大会のオーピングイベント、農業体験、うどん打ち体験、町内企業との連携によるイルミネーション等があげられる。さらには、日頃より町内外の様々な方々との連携と協力を行っている。また、ときがわ町や東秩父村の地域おこし協力隊の方々の意見交換もおこなっている。なお、昨年12月には、町おこしディレクター自身が合同会社を設立して、活動の事業母体を整えたところでもある。



嵐山町民の皆さんと味噌作り体験！

杉山城において、ロケ班の方々と！！
4月に時代劇撮影予定！！



大野 徹行 議員

始めが肝心
期待します

問 駐車料金や入園料金などは徴収するのか。

答 環境農政課長「町民の方やマスコミ関係者、観光業者等にラベンダー苑を知って頂く。地域の商業者、農業者が開花時期での物品販売等を試験的に行う。対象者を限定してのプレオープンであり、見せられるエリアも限定的であるので今年度は徴収しない方向である。

問 違法駐車をどう取り締まるのか。

ラベンダー苑のプレオープンはどうな形で

答 安全対策が取れたエリア内においてプレオープンする

問 環境農政課長「普

答 環境農政課長「町が中心となり千年の苑事業推進協議会等の関係者の協力の基で進められるものと考えて

わたしノートを

町民ひとり一人
が作ってみては

問 わたしノートを町民ひとり一人が作

答 長寿生きがい課長「自分の死や病気等により意思疎通が困難になった時の為に、希望する内容を書いておくものであり、遺言書のような法的効力は無い。もしものときに備え、医療や介護について考えるきっかけや、今後どう過ごしたいか考える機会となるものである。近隣の坂戸市、北本市など作成・配布している自治体もある町でも研究していきたい。

問 以前作られた暮らしの便利帳の様に民間協力で出来るのか。

答 副町長「前向きに検討する。」



ラベンダー摘み取り風景=2017. 7. 8

つてみては。